

通勤近郊車両の移動制約者対応スペースにおける支持具の検討

齋藤綾乃 村越暁子 藤浪浩平 鈴木浩明 松岡茂樹

移動制約者の中でも車内設備での対応が充分とは言えないベビーカー利用者等が、現行の車いすスペースを発展させた新たな共用スペースを利用する前提で、そこに設置すべき支持具の要件について検討した。振動環境下での評価実験の結果、立位の支持具としての機能と簡易腰掛けとしての機能を2本の手すりに分けて提供することで、従来よりも使いやすさが向上することが確認された。また、車内における適切な水平手すりの高さは、建築物の通路で適切とされている値より高いことが示唆された。

(鉄道総研報告, 2007年5月)

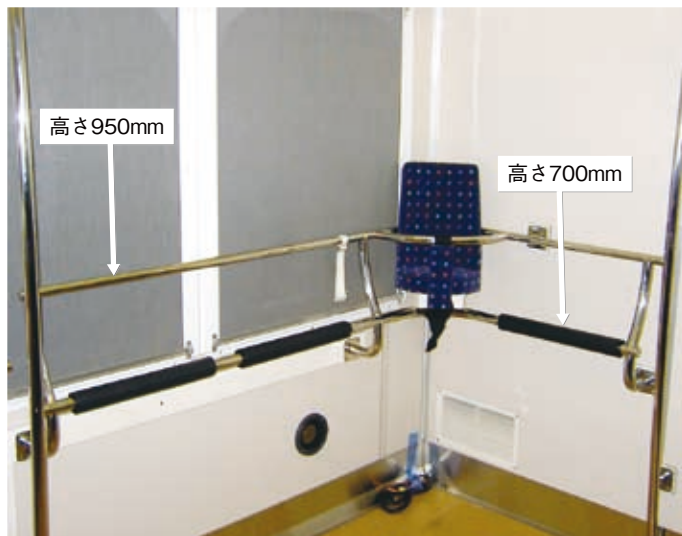


図 水平手すりを2本設置した共用スペースの例